

「地域計画」実現のため市の体制強化を!

来年度施策を市長に要請

福知山市農業委員会



福知山市農業委員会 適化推進委員が地区推の会長に就任。集落の農区(248集落をカバー)する21組織、「地区推」と略)の意見を集約し、同市の来年度予算編成に向けて、8月22日、大橋一夫市長に要請書を提出した。

同市では、農地利用最農業委員会の藤田会長(左)から大橋市長に要請した(8月22日)

計画担当係の設置、農業委員会と農林業担当課の連携強化」を重点的に要請。併せて、「集落営農組織の運営助成」や「有害鳥獣対策の拡充」などを求めた。

農業者の意見を提出して施策への反映に努めることは農業委員会法38条に基づく大切な業務であり、同市では、農業委員会の意見を踏まえて来年度の施策の検討が始まっている。

来年度は、地域計画の実現に向けた施策が市政の中心的な課題となるため、「農地利用調整を担う地区推の支援」や「市の体制強化(II地域

京都府農林水産技術センター

重労働で、栽培農家から負担を軽減する技術が求められている。

その結果、管理機や小型トラクターにアタッチメント(らせんツメなど)を組み合わせ、手作業で10分あたり45時間かかる土入れ作業を、歩行型機械で4時間弱、乗用型機械で2時間弱まで削減することができた。

今後は、機械利用による省力栽培技術の普及を進め、エビイモの産地拡大をめざしている。

農林センター



乗用型機械による土入れ作業、歩行型機械による省力栽培技術の普及を進め、エビイモの産地拡大をめざしている。

地域計画の目標地図(素案)をつくろう! 担当地区の地図で耕作者の現況を確認



現況地図をもとに、委員が目標地図の素案づくりに取り組んでいる(大河原地区)

南山城村農業委員会

南山城村農業委員会では、地域計画の目標地図(素案)づくりに向けて、委員が担当地区の地図を広げて耕作者の現況確認を進めている。

「最近、△△さんは身体が弱り、耕作できなくなりました」「この遊休農地は〇〇さん耕作してくれるんちゃうか」など、地図を見ながら自分の担当地区の農地を確認し、地域の課題を認識。この作業と「地区内の農業者との話し合い」を繰り返すことにより、将来にわたって地域農業を守ることができると期待している。

また、地域計画策定後の運用の仕組み等の検討を進め、農業者が個別に悩みを相談できる体制作りにも力を入れている。

(南山城村農業委員会)

新会長の抱負

与謝野町農業委員会 番 晃 会長(50)

与謝野町では22集落で地域計画策定に向けて協議を重ねている。さまざまな課題の一つに耕作者による草刈りの負担が挙げられ、この負担を少しでも減らすための解決策として、非農家の方にも



協力いただき農地を維持管理するための組織作りができればと考えている。

京 都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660

地域に根ざして 活動する農政部長

員、町立小学校の農業技術指導講師としても活躍。京都府農政の最前線で長年勤めた

京丹波町 松野堯俊さん



京丹波町農業委員会最前線の松野堯俊農政部長(79) 振興に加えて、伝統文化の継承や学校教育の支援まで、地域に根ざした活動に励む姿は、他の委員の励みとなっている。

松野さんのモットーは、「活動記録簿の徹底」「楽しい広報発行」などの取り組みを進めていきたい。

(京丹波町農業委員会・宇野栄晃広報部長)

農deきらきら

女性委員が “つないで発信”

宇治田原町の女性農化推進委員を1期すつ務業委員として、昨年7月めでましたが、昨年のに就任しました。夫も、改選時に交代しました。農業委員と農地利用最

直売所「宇治茶の郷」で特産品をPR



宇治田原町に嫁いで20余年になりますが、当時に比べて荒廃農地が増え、農業の魅力が伝えないで、女性や若い人に少しでも農業に携わってもらい、荒れた農地が再生できるように活動していきたいです。

(宇治田原町農業委員会・奥村喜美子委員)